

PED対策の再徹底をお願いします。

★豚流行性下痢（PED）は、いまだ全国で発生しています。
特に愛知県では平成29年6月に6件発生しており、すべてが再発農場です。

愛知県のPED発生状況4（H28.9～）

例数	農場所在地	発生日 (遺伝子検査陽性)	飼養頭数	発症頭数 (通報時)	死亡頭数	平成26年2月からの情報	
						例数	備考
1	瀬戸市	H29. 1. 7	3, 800	繁殖豚10頭 哺乳豚約100頭	140頭	107	76例目と同一農場
2	瀬戸市	H29. 1. 11	840	哺乳豚約20頭	60頭	108	78例目と同一農場
3	田原市	H29. 1. 21	750	肥育豚約5頭	80頭	109	89例目と同一農場
4	瀬戸市	H29. 1. 23	4, 900	哺乳豚約20頭 肥育豚約30頭	10頭	110	8例目と同一農場
5	田原市	H29. 6. 6	1, 140	哺乳豚約50頭	5頭	111	98例目と同一農場
6	田原市	H29. 6. 8	2, 000	哺乳豚約40頭	0頭	112	86例目と同一農場
7	田原市	H29. 6. 13	1, 700	哺乳豚約40頭	0頭	113	102例目と同一農場
8	田原市	H29. 6. 15	1, 400	哺乳豚約20頭	1頭	114	105例目と同一農場
9	田原市	H29. 6. 19	2, 400	哺乳豚約140頭	0頭	115	81例目と同一農場
10	美浜町	H29. 6. 21	2, 760	哺乳豚約50頭	5頭	116	88例目と同一農場
合計			21, 690	525	301	発生実農場数：66農場	

(出典) 愛知県「豚流行性下痢（PED）の発生について」

★今一度、飼養衛生管理のチェックをお願いします。

★早期通報をお願いしています。

以下の症状が見られた場合は、発症豚の出荷・移動を自粛し直ちに家畜保健衛生所へご連絡ください。

- ①複数の繁殖豚の分娩した哺乳豚で、半数以上が水様性下痢・嘔吐・死亡した場合
- ②哺乳豚1頭以上が水様性下痢・嘔吐・死亡し、半日以内に他の哺乳豚に同一症状が拡大した場合
- ③複数の繁殖豚・肥育豚（離乳豚も含む）が、食欲不振・下痢（軟便～水様性）・嘔吐を呈した場合

★本病の対策

PED防疫マニュアル(H26.10月版 P6)を参照ください。

※農林水産省HPにPDFファイルが掲載されています。

日頃からの飼養衛生管理の徹底

糞便中のウイルスにより経口感染します。

感染豚の導入、汚染された人、車両、物品、野生動物によって病原体が運ばれると考えられています。

(PEDウイルスは環境中で28日以上、感染能を有していたとする報告があります。)

ワクチンの適切な使用

ワクチンの確実な接種は発症を完全に抑えるものではありませんが、哺乳豚の損耗による損失を低減させます。

妊娠中の母豚に2回接種することで、分娩後多量の抗体を含んだ初乳を分泌します。これを哺乳豚が十分に飲むことで、哺乳豚の口から侵入したウイルスが腸管内で中和され、死亡率が低減します。

PED対策に係る消毒薬の適正使用

PEDウイルスは一般的に使用される消毒薬で不活化されます。

実際の使用に当たっては各製剤の用法・用量に基づき、有機物を除去したのち、正しい濃度に希釈して使用してください。とくに畜産関係施設（家畜市場、と畜場、化製場等）入退場時の消毒を徹底してください。

中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1

TEL: **058-201-0530** FAX: 058-201-0531

(平日時間外・休日の緊急連絡先: 090-7024-5269)

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp

